蔵王嶽
広報
かじき
No.382
昭和61年8月号
発行 加治木町
編集 総務課
題字 東町長

雷

『○○にかみつかれると、雷が鳴るまで離さない』

さて、あなたなら、この○○に何と入れますか。ヤモリ、ヒル、それともスッポン？

雷を防ぐ方法にもいろいろな言い伝えがあり『桑原、桑原』と唱えるというのは大低の人が知っています。そのほか、カヤの中に入るといいとか、年越しの豆を食べると助かるともいわれています。

こうした言い伝えの真偽は別として、この時期はいろいろな事故の多いシーズン―。

とりわけ、水による事故で〝小さな命〟が失われたというニュースにふれると胸が痛くなります。子供たちに〝水の恐しさ〟も教えてください。

元気いっぱい“水しぶき”（小山田保育所にて）

◈人口23,269人(＋26)男10,910人(＋20)女12,359(＋6)世帯数 7,970(＋29)　61.7.1現在(　)前月比

網掛川などを重要水防区域に

町水防計画を策定

防会議
水協

町水防協議会（東國雄会長、委員十九人）が六月二十七日、町消防会議室で開かれ、六十一年度の水防計画について協議しました。

協議会では、人事異動で新たに委員となられた加治木警察署長と土木事務所長に東会長が委嘱状を交付した後、協議に移りました。

六十一年度の水防計画では、溢水や欠壊の恐れのある「重要水防区域」として網掛川、宇曽ノ木川、日木山川、別府川を、また、高潮の恐れのある「特に危険な区域」として加治木海岸を、「水防警戒を要する河川、海岸」として日木山川、宇曽ノ木川、網掛川、別府川、湯ノ谷川、加治木海岸（黒川海岸、舌出し海岸、振興地海岸、須崎海岸）を挙げています。

また、高潮や津波などにより著しく危険が切迫したときの予定避難場所は、町防災計画の施設（広報かじき号外参照）と同一とすることを決めました。

みんなで台風や、大雨による水災に備えましょう。

委嘱状を交付

今年から〝血液検査〟も実施

町一般健康診査

町では、四十歳以上の人を対象に「一般健康診査」を行っていますが、従来の血圧測定や検尿に加え、今年度から〝血液検査〟も実施しています。

みんなで健診を受け、早期発見・予防に努めましょう。

1人ひとりが健康管理を

おふくろの味を伝える

郷土料理教室

私たちの祖父母や父母たちが食べてきた郷土料理。その、ふるさとの味、おふくろの味を伝承していこうと、今年も郷土料理教室が福祉センターで開かれています。

開講式は、七月十八日、三十九人の若いお母さん方が参加して行われ、さっそく永田フジさん（柳田）と小川文子さん（岩原西）の指導を受けながら「さつまおすもじ」や「アジの南ばん漬け」「ふくれ菓子」などの料理に熱心に取り組んでいました。

郷土料理教室は、二か月に一回、来年の三月まで五回の講座が行われ、それぞれの季節に合わせて、「栗ごはん」や「さつま汁」など二十種あまりの郷土料理を学習することになっています。

おいしくできるかな

家族で話そう 交通安全 ③

町内ぐるっと一周

町内の道路を、ぐるっと一周見てまわりました。

というのも、昨年九月道路交通法が一部改正され、シートベルトやヘルメットの着用が〝義務〟づけられたというので、現在、どのくらいの人が着用しているのか、興味を持ったからでした。結論から先に言うと、ヘルメットについては七月五日から行政処分一点という法的規制が加わったためか、ほとんどの人が着用。シートベルトに関しては、残念ながらそれほど高い着用率ではありませんでした。

ある調査によると、大部分の人はシートベルト着用の効果を認めながらも「めんどうだから」「窮屈だから」などの理由で、着用率は約六割にとどまっている、という結果が出ているそうです。

しかし、車のフロントガラス越しに見た限りでは、もっと低率ではないかと思われました。

よく目につくことは、国道や県道などの幹線道路での着用率が比較的高いのにくらべ、町道における着用率に差があることです。やはり近距離乗車によるのでしょうか。

事故が起こった場合の〝安全〟を考えると、何はさておきシートベルト着用の習慣づけが必要だと痛感するのですが…。

きちんとシートベルトを締めている人を見つけると、なぜかホッとします。

もっと、着用率が高ければいいのだが……と願いながら帰途につきました。

シートベルト着用推進運動
（8月1日～9月20日）

★わが命　たくす
ベルトとヘルメット

ふるさとの良さを見直そう

社会教育・夏期教養講座

「ふるさとの良さを見直し、美化的な郷土を築こう」をテーマに、社会教育夏期教養講座が七月十八日、福祉センターで行われました。

これは、社会教育学級生に、専門的な知識だけでなく、幅広い学習をしてもらおうと、教育委員会が年二回講演会を開催しているもので、この日は、鹿児島大学の原口泉助教授が「加治木の歴史散歩」と題して講演しました。

会場には、社会教育学級生やお年寄りなど五百人あまりが集まりふるさとの歴史物語に熱心に聞き入っていました。

講演する原口泉先生

「親の姿勢を正しましょう」

町ＰＴＡ母親研修会

「子供の痛みわかりますか、お母さん」をテーマに、町ＰＴＡ母親研修会が六月三十日、福祉センターで開催され、幼児や小・中・高生を持つ母親三百人あまりが熱心に研修しました。

研修会では、分散会の後、竜門小学校の市来達也校長が、「親の目・子の目」と題し「現在の子供たちは親の言うとおりには育たないが、親のするとおりには育つ。言うべきことは言い、やらせるべきことは正しくレールに乗せてやらせるべきで、親の姿勢を正しましょう」と講演しました。

市来先生の講演

「教材用に」と ちょうの標本を寄贈

国際ロータリー２７３地区加治木クラブ

国際ロータリー二七三地区加治木クラブの増田繁会長と、松田繁美会長、宮薗公洋会員の三人が七月十七日加治木小学校を訪れ「教材用に」と〝台湾産の蝴蝶の標本〟を寄贈しました。

この標本は、加治木クラブと姉妹盟約を結んでいる中華民国の員林ロータリークラブから贈られたもので「子供たちのために役立てて」と寄贈したものです。また、この日は、江夏利夫会員からも同じ〝蝴蝶の標本〟の寄贈の申し出があり、ロータリークラブの増田繁会長と松田繁美国際奉仕委員長の二人が柁城小学校を訪れ、安田校長に手渡しました。

加治木小学校の加藤校長は「子供たちの良い教材になります。理科室に飾りたい」と話されました。

加治木小に寄贈された標本

左から安田校長、松田さん、増田会長

全校生徒が奉仕作業

加治木中学校のゆとりの時間

加治木中学校（冨吉次夫校長、生徒数一千百二十三人）では、勤労意欲を高め、地域を愛する心を養おうと七月十七日、ゆとりの時間を利用し、学校内外の清掃奉仕作業を生徒全員で実施しました。

この日は、二、三年生が校内の草取りなどを行い、一年生が五～六人のグループを作り、日豊本線より北側の通学路で、側溝や河川などに投げ捨ててある空き缶やゴミなどを拾って歩きました。

一時間あまりの奉仕作業が終わるころには、全員が手に手に重そうな袋をさげて学校に戻り、そのゴミの多さに生徒たちはおどろいたようすでした。

地域の美化活動を実施

Aクラス・セントラル Bクラス・加治木カラースが優勝

町ナイター・ソフトボール大会

町ナイター・ソフトボール大会が七月十四日から二十六日にかけて、町営グラウンドで開催され、Aクラス七チーム、Bクラス六チームが参加し、熱戦を展開しました。

結果は、次のとおりです。

◎Aクラス

優勝セントラル▽**二位**クリーン

▽**三位**球友・竹之内鈑金

◎Bクラス

優勝加治木カラース▽**二位**ＬＣＣ

「すいかどろぼう」などを公演

ママさん人形劇団『ピノキオ』

「町立図書館のお話しの時間を利用して、今年もママさん人形劇団「ピノキオ」が七月十六日、「すいかどろぼう」と「町のねずみといなかのねずみ」の人形劇を公演し、集まった約八十人の幼児や小学生たちは、人形の動きに熱心に見入っていました。

人形劇団ピノキオでは結成六年目を迎え、今年は「人形劇を見る機会の少ない子供たちのために」と、町内の保育所などでも人形劇を公演しており喜ばれています。

人形劇を公演

ラジオ体操の後は〝朝読み〟

高井田の子ども会

夏休みに入り、各地でラジオ体操の会が開かれていますが、高井田の子ども会（畠中克秋会長、会員百二十三人）ではラジオ体操の後〝朝読み〟を実施しています。

これは「朝一字でも文字を読もう」と子ども会で話し合い始めたもので、漫画以外の雑誌や、国語の教科書などを持ち寄り、学年ごとに輪になって全員で〝朝読み〟を行っています。

「本を読むのが大好き」という畠中英子さん（加治木小・三年）は、七月二十八日には五冊目に挑戦。お兄さんに借りた「豊田佐吉」の伝記を熱心に読んでいました。

また、笠木志保さんや田中美央さんなど一年生は、みんなで国語の教科書を元気な声を出して読んでいました。

さわやかな気分で朝読み

暮らしの法律相談 ⑤

越境した木の枝はかってに切れるか

質問

隣の柿の木の枝が、私の家の屋根付近まで張り出し、春には毛虫がいっぱい落ちてきて気持ちが悪く、冬になると木の実や葉が屋根にたまり樋をつまらせることがしばしばです。

木の枝を切るよう要求しましたが、なかなか切ってくれません。かってに切り取ってよいでしょうか。

回答

◆枝の切り取り請求権

竹木の枝や根は、土地の境界線に関係なく成長するので、隣地の木の枝や根が境界を越えて伸びてくることはよくあることです。

このような場合、民法は、枝が越境してきた場合と根が越境してきた場合とに分けて取り扱い方を決めています。

境界を越えて伸びてきた枝については、その木の所有者に対してその枝を切り取るよう請求することができると定めています。（民法二三三条一項）

したがって枝に侵入された土地の所有者は、木の所有者に対し切り取りを請求することになります。ただその際、枝が越境していてもそれによって自分の土地の利用が何ら妨げられず、今後も妨げられる恐れが全く無いという場合に、切り取りを請求することは権利の濫用になります。また、土地の利用が妨げられていたり、将来妨げられる恐れがある場合でも、その被害がわずかなもので、それに比べどの程度の切り取りを請求するかについては、木の所有者とあなたと双方の具体的な利益を比較して妥当な線を決めなければなりません。裁判例も「単に越境部分の全部を漫然と切り取ることは許されず、当事者双方の具体的利害を充分に較量してその妥当な範囲を決めなければならない」といっています。（新潟地裁昭39・12・22判決）

◆かってに切り取れない

切り取ってくれと請求しても木の所有者がこれに応じてくれない場合、かってに切り取ることは許されません。切り取りを要求された木の所有者は、その要求に応じて切り取るのも一つの方法ですが、たとえば越境している枝を矯正して越境しないようにするなど、枝を切り取らずにしかも枝が土地利用の妨げとならないような方法をとることもできます。木の所有者が方法のいかんをとわず土地の利用を妨げないように協力しようとしない場合には、裁判所へ、第三者に木の所有者の費用負担で越境している枝を切り取らせることを求める訴訟を起こし、判決をもらって切り取る以外にありません。

町は昭和六十一年度「人権モデル地区」に指定されています

全日本クラブ選手権ソフトボール大会に出場
――竹之内水産チーム――

九州大会で優勝、初の全国大会へ

竹之内水産（竹之内一吉監督）が、七月二十六日から沖縄県で開催された全日本クラブ選手権ソフトボール大会に九州代表として出場しました。

これは、六月十四・十五日の二日間、都城市で行われた九州地区予選の決勝戦で、佐賀のオール神崎を九対一の大差で破り優勝。町内では初の全国大会出場権を獲得したものです。

安田一雄キャプテンは「九州代表として、いつもの野球をし、せいいっぱいがんばります」と力強く抱負を語りました。

「阿剛洲（アゴーズ）」初の全国大会へ
全日本９人制バレーボール クラブカップに出場

バレーボールクラブの「阿剛洲（アゴーズ）」が、七月六日加世田市で行われた〝全日本九人制バレーボールクラブカップ男子県選手権大会〟で優勝し、初めての全国大会出場権を獲得しました。

加治木中学校で練習中の片ノ坂雄治キップテンは「アタック陣はそろっており、レシーブしだいです。県大会以降、調子は上向いており、ベスト8（ファイト）を目標に、できれば優勝をねらいたい」と力強く抱負を語りました。

全国大会は八月二十二日～二十五日、神戸市で開催されます。

全国制覇に燃える阿剛洲

城西地区が優勝
地区対抗 一般女子バレーボール大会

地区対抗、一般女子バレーボール大会が六月二十九日、町営体育館で開催され、城西地区が優勝しました。

今年は、地区公民館区域の再編成が行われたため、昨年より四チーム多い十三チームが出場し、地区民の盛んな声援を受け好試合が展開されました。

結果は次のとおりです。

優勝……城西地区
二位……錦江第一地区
三位……木田第三地区
四位……錦江第二地区

好試合を展開

日ごろ鍛えた技を競う
町剣道錬成大会

町剣道錬成大会が七月十三日、町営体育館で開催され、二十二チームが参加し日ごろ鍛えた技を競い合いました。

団体戦の結果は次のとおりです。

〔小学生の部〕
優勝加治木剣道スポーツ少年団A
二位加治木剣道スポーツ少年団B
三位警精館剣道スポーツ少年団A
柁城剣道スポーツ少年団A

〔中学生の部〕
優勝加治木中A▽**二位**加治木中F
三位加治木中E・加治木中H

〔高校生の部〕
優勝加治木高校C▽**二位**加治木高校A▽**三位**加治木高校B

〔一般の部〕
優勝新富剣友会▽**二位**火曜会A▽**三位**加治木警察署A

技がぶつかる

水の事故防止

水の恐しさを教えよう

子供、とりわけ三歳～五歳前後の幼児は〝水が命を奪う危険なもの〟であることを、体験的に知りません。

水しぶきをみれば、本能的に遊びごころがわいてきて、ヨチヨチ歩きで近づいていきます。

ちょっとお母さんが目を離したスキに、取り返しのつかない事態になることが多いのです。

また、小学生でよく見られる事故に、プールの排水口に足を吸い込まれて水死するというケースがあります。

水遊びをするときは、次のような点にぜひ注意して、事故を防ぎましょう。

- 近くに用水堀やため池などの危険な場所があるときは、管理者に申し入れて、サクやふたなどをしてもらいましょう。
- 子供たちだけで水泳や水遊びに行かないように、ふだんから子供に言い聞かせましょう。
- 出かけるときは、必ず大人が同行するようにしましょう。
- 雨降りのあとは、川や用水路などが増水します。子供たちを近づけないように特に注意を。
- 危険な水辺で遊んでいる子供を見かけたら、進んで「危ないからやめなさい」のひと声をかけましょう。

「子供たちに音楽の楽しさを」

永原小で鹿大管弦楽団が公演

「子供たちに音楽の楽しさを知ってもらおう」と七月十六日、鹿児島大学管弦楽団の一行六十人が、永原小学校を訪れすばらしい演奏を披露しました。

これは、夏休みを利用し、各地で公演しているもので、この日は永原小学校の生徒全員が「星条旗よ永遠なれ」やヴィバルディの「四季」などの生演奏に熱心に聞き入っていました。

生演奏に聞き入る

子どもみこしが地区を練り歩く

管原神社の夏祭り

管原神社の夏祭りが七月二十五日行われ、今年は子供たち手づくりのみこしが地区内を練り歩き、祭りを盛り上げました。

祭りだワッショイ

手作りみこしは、酒ダルに子供たちが飾りつけをしたもので、この日は最年少の早川真人くん（姶良幼稚園）や小・中学生三十人あまりが「ワッショイ、ワッショイ」と元気な掛け声をかけながら地区内を練り歩き、盛んな声援を受けていました。

夜の部では、打ち上げ花火を合図に子供からお年寄りまで全員が手に花火を持ち入場。鹿児島おはら節や町民音頭を踊った後、天神子ども会（豊村公二会長）が、上村美津子さんの指導で、お母さんといっしょに練習してきた「ミッキーマウス」の踊りを披露し、集まった人たちからは笑いと盛んな拍手が沸いていました。

ゴールデン・ロード・ランブル

金山道漫歩 2

黒川浜と舌出し

遠く白砂青松の続く汀は、松籟の音と潮騒が奏でる自然の交響楽に、シオマネキは朝陽にキラリと光る小さなハサミを上げて、いみじくもリズミカルなタクトをとっている。その向こうには、波静かな錦江湾に浮かぶ桜島山、そして左手沖合の殿様瀬（R・五十三㍍）では、見るからに格調高い屋形女船が鮪を食わしたのか、急に動きが活発になってきた。

文正十年（一八二七年）春、市速神社から見る黒川岬は風光すこぶる潤達であった。ちょうどこの年、小林一茶が逝き、西郷隆盛、重野安繹が呱々の声を上げ、天保元年大久保利通、吉田松陰が生まれ、天保二年良寛三年頼山陽、四年島津重豪が没し、木戸孝允が生まれ、五年松方正義、五代友厚、六年三島通庸、七年山岡鉄舟、八年吉村寅太郎など英傑たちが生まれている。天保十二年、幕府水野忠邦が〝天保の改革〟を断行した年に伊藤博文が生まれた。

昔の黒川岬　（想像図）

私たちの加治木では桑幡屯という人の熱意に動かされ島津久徳は、二千二百六十㌃余りの黒川新田を完成した。ここに農民たちは豊作と家内安全を願って田の神様を建てたが今は無い。（東京銀座の某レストランにあるそうです）

ときは正に風雲急を告げる激動の幕末である。朝令暮改、擾擾たる世態人情は、鷸蚌の争いに一顰一笑のイベントもあったが、歴史の歯車は王政復古、明治維新へと大きく回って行く。やがて西南の役も終った明治十二年、黒川海岸に石畳がこう配になって水に突き出し漬っている舌出し桟橋が出来た。ここを起点に永野金山とを結ぶ〝金山道〟が開かれ、途中、井手向の第一金山橋、溝辺石原の第二金山橋、横川の第三金山橋がありし時伊佐姶良の経済振興の役割を果たした。また、この道の港町に原口金問屋兼旅籠があり、横川の原口家とは親類関係にあり同業者でもあることなどおもしろい。

浜町には金（？）に絡むエピソードも多く、花街女に身を焦がした大尽の人生浮沈の哀話は今もなお、古老たちの語り草になっている。

封建社会から近代社会への早いテンポの中に舌出しも埋められ、新田も団地化されてしまった。日常私達は住み慣れた慣れから身近かな事を当然と思うようになった今日、直木三十五の大阪物語の「どうも人間というものは自分の愛人の事を知ろうとする程、熱心に自分の町については知ろうとしない」この書き出しに、強い頂門の一針を受けるのは私ばかりでしょうか。

黒川岬を望む

本ガザミ

一万匹あまりの稚ガニを放流

錦海漁協

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では、今年も本ガザミの稚ガニ、一万匹あまりを七月十五日、日木山川河口に放流しました。

これは、錦江湾の漁業資源を豊かにしようと、昨年から試験放流しているもので、放流した稚ガニは、県栽培漁業センターでふ化したものを、漁協の事務所前で十日間、中間育成し、体長約一センに成長した一万一千匹あまり（一千九百グラム）を放流しました。

本ガザミは、一年あまりで体長十五センチ以上に成長するそうです。

日木山川河口に放流

83人が愛の献血

愛の血液助け合い運動推進街頭キャンペーン

〝愛の血液助け合い運動〟期間中の七月二十六日、東町長や岩屋収入役、下猶町議会議長、川崎副議長、宮路議員などと町や保健所の職員三十人あまりが浦生田通りで、道行く人に「献血にご協力を」と呼びかけチラシを配布しました。

この日は、県赤十字血液センターの採血車が鹿児島銀行の駐車場で採血を行い、呼びかけに応じ、八十三人（二百mℓ献血者八十人、四百mℓ献血者三人）の方が献血されました。

献血を呼びかけ

蒲生田通りに氷の彫刻

福村知洋さんが制作

蒲生田通り商店街が毎年実施している「蒲生田名物・金魚すくい大会」が、七月二十七日行われ、おおぜいの人でにぎわいました。

今年は、会場に福村知洋さんが制作した、氷の彫刻「光を浴びる乙女」の像が飾られ、涼を求めて訪れた人の目を引いていました。

体調の乱れ遅速の梅雨籠り　川上　節子

梅雨ごもり階下の妻の長電話　柳田　稔

襁褓ぬう花梔子の匂ふ部屋　竹山　洋子

本堂は座禅のさなか朴の花　佐々木かすみ

青かりん身障の子の職を得し　川崎　黒兎

村雨の霧万緑を奪ひけり　加藤　白柳

京菓子の淡き彩り新茶汲む　内田美津代

潮鳴りや北東風吹きつぐ涛の尖　古江　重美

検眼のどれもわからず走り梅雨　恒吉　斗南

あなたなる畑より煙青田風　三浦　ゆう

五月雨の止みて山襞還へる雲　高木　正男

薬草知られざる効き目 ㉟

ゲンノショウコ

無医村のここにもげんのしょうこ咲く　翠園

山野に自生する多年生草本。日本人には最もなじみの深い薬草で、北海道から九州、千島・朝鮮・台湾に分布します。

九月から十月にかけて開花、東日本は白花、西日本では紅紫色であるが、鹿児島でもまれに白花が見られます。

服用するとすぐ効用が現われるので「現の証拠」と名付けられました。

ゲンノショウコの採取は、花の初期が適期です。時期が過ぎると、薬効の強い葉が粉になってしまいます。葉茎ともに採取します。

昔から薬用に、食用に草木染めに使われていますが、その伝承のいくつかを……。

食あたりで、腹痛下痢のおきた場合、600ccの水から半分量にせんじ、一日三回に分服する。

お茶代りに飲むと、胃腸が調整され、胃腸の弱い方に効用があり、便秘する人は正常になります。

婦人病で悩む方も服用を続けるうち、いつのまにか全治し、今まで妊娠しなかった人が子宝に恵まれた例があるそうです。

切り傷、疔・ねぶとはせんじ汁で洗ってもよい。切り傷は生葉の汁をつけてもよい。

ゲンノショウコは、昔、草木染めの原料とした記録があり、若葉はおひたしにし、てんぷらにして食べられます。

ゲンノショウコはフウロソウ科の植物で、鹿児島にはアメリカフウロ、タチフウロが自生するが、同じ効用があるそうです。

さく果は、直立した角があり熟すると角がはじけて、下部にある種子を四方にはじき飛ばす仕掛けになっています。

秋の気配が漂うころ、草むらにひっそり咲くピンクの花に、ホッと心が和みます。

うちかがみ

げんのしょうこの花を見る　虚子

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

お知らせ

感電事故をなくしましょう

昆虫採集、魚釣り、水遊びと子供たちの夢を大きくふくらませる楽しい夏休み。この夏休みに多い感電事故から子供たちを守るため

「危ないところでは遊ばないで」とひと言お子さんに……。

- セミ取りなどで電柱にのぼるのはやめましょう。
- 電線の近くでの木のぼりや飛行機遊びはやめましょう。
- 切れた電線には絶対にさわらないで、九州電力・加治木営業所へご連絡ください。

秋の受講生を募集

NHK学園 通信講座

NHK学園では、生涯学習講座の〝秋の受講生〟を、十月十五日まで募集しています。

生涯学習講座は、教養と趣味を深めるための講座で、書道や絵画、囲碁、俳句、短歌、川柳など二十四の講座があります。

案内書をご希望の方は、〒一八六東京都国立市富士見台二―三六「NHK学園八E六十一係」へ、ハガキでご請求ください。

水道豆知識

★赤い水

水道工事や断水などのために、水道管の中を流れている水の速さや方向が変わったとき、じゃ口から赤い水が出ることがあります。これは、管の中の鉄サビが原因です。しばらく水を出しておくと、きれいになります。

★白い水

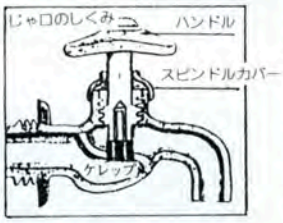
水の中に小さな気泡(空気)が入ったためです。しばらくおくときれいになります。安心して使ってください。

★においのある水

カルキ（塩素という殺菌用の薬）が入っているからです。これは水が完全に殺菌されている証拠です。安心してお飲みください。

★ガタガタ音がする管

ケレップがいたんでいるときに起りがちです。まずケレップを取りかえてみましょう。



★水がでない

- 自分の家だけのとき

メーターボックスの中の止水せんが開いていることを確認してから修理の申し込みをしてください。

- 中高層住宅全部のとき

受水タンクやポンプの故障が考えられます。水道だけでなく電気系統もあわせて確認してください。

- 近所一帯のとき

浄水場や道路の水道管などの突発事故が考えられます。この場合には広報車などでお知らせしますが、わからないときは、水道課へお問い合わせください。

うぶ声

出生児　保護者　自治会

江口まなみ　和博　春日団地
伊達　葵　智子　赤坂
安田衣里子　昭男　須崎
江口　智　和人　上木田
久保友理香　賢一　西江口団地
竹井　裕紀　幸広　弥勒
柿木　崇志　正人　中央
福崎　卓　茂　岩原西
坂元　沙織　隆己　今町
下拂　昭太　豊志　中福良後
別府　幸恵　治樹　赤坂
神野　謙太　洋一　赤坂
永山　由貴　信一　赤坂
松元（たぶ）　義人　憲義　春日団地
椨　好史　盛剛　西江口団地
津曲　初季　進　西江口団地
黒江　哲博　博美　赤坂
石原　麗美　正吾　赤坂
岩見　智子　文行　豊町
新　慶介　國秋　吉原

▽七月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　江口団地　郡山スミ子（長女　良子　四一）

十五万円　柳田　石原　学（母　孝　八四）
十万円　今町　木元みね（夫　春夫六三）
三万円　市野　外園　貢（母　シゲ八一）
三万円　西塩入下　北園輝美（母フミエ七六）
二万円　田中　城　秋男（母キミ　八〇）
三万円　西ノ原　澤崎テル子（母　シゲ八八）

＝町育英奨学資金へ＝

三万円　柳田　石原　学（母　孝　八四）
五万円　今町　木元みね（夫　春夫六三）

＝町老人クラブ連合会へ＝

五千円　柳田　石原　学（母　孝　八四）

▽七月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽にご相談ください。

秘密は固く守られます。

▽宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七―二B―十四
（電話　六三―三七八七）
▽中摩多美子　反土二七五六
（電話　六二―二七六八）
▽岡山秀樹
錦江町二五三番地二
（電話　六三―二八七八）